

開講科目名	専門演習 B (3)		
担当教員	安岡 正晴	開講区分	単位数

授業のテーマと到達目標

後期月曜4時限の演習では、主に3回生を対象として、個人研究報告とレポートの作成を指導します。前期の演習同様、本演習も、G8（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシア、日本）諸国を比較政治・社会学的に考察していくことをメインテーマとします。大きく分けて、1.G8諸国と国際政治経済、2.G8諸国における政治・経済・社会問題、3.比較外交政策、4.大衆消費文化（テレビ、映画、音楽など）に反映されている政治・経済・社会問題などをカバーします。講座や学年を問わず、積極的に発言・議論する皆さんを歓迎します。

授業の概要と計画

- 1. イントロダクション
- 2. 個人研究報告（各人2回）
- 3. 週末を使った個人研究発表会（12月に1回）

成績評価と基準

演習への参加・発言	30%
演習でのプレゼンテーション	40%
提出コメント を総合して評価します。	30%

履修上の注意（関連科目情報等を含む）

履修を希望する場合は、初回の授業（10/1）に必ず出席してください。初回の授業に出席していない学生の履修は認めません。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー 月、水、金の昼休み、それ以外は要予約
研究室 E409
E-mail yasuoka@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

3年生後期の演習は、メンバーでまとまって勉強する最後の機会になります。卒業論文に向けて大学での勉強の大成となるように積極的に取り組んで、思い出に残るようなゼミにしてほしいと思います。本期から初めて私のゼミに参加する人も歓迎します。

今年度の工夫

今年は個人発表を中心に進めるだけでなく、全員でシミュレーションをしたり、全体で活発に議論する機会を増やしてゆきたいと考えています。

教科書

特に使用しない。

参考書・参考資料等

梶田孝道編『新・国際社会学』名古屋大学出版会、2006
スティーブン・R・リード『比較政治学』ミネルヴァ書房、2006
田口富久治・中谷義和編『比較政治制度論（第3版）』法律文化社、2006
桜田大造・伊藤剛編『比較外交政策?イラク戦争への対応外交』明石書店、2004

授業における使用言語

日本語

キーワード